



## 2020年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月7日

上場会社名 GMOメディア株式会社  
 コード番号 6180 URL <http://www.gmo.media/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 輝幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 石橋 正剛

TEL 03-5456-2626

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	2,187		88		88		77	
2019年12月期第2四半期								

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 77百万円 ( %) 2019年12月期第2四半期 百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	44.95	
2019年12月期第2四半期		

(注) 当社は2019年12月期第1四半期は非連結での業績を開示していましたが、2020年12月期第1四半期より連結業績を開示しているため、2019年第2四半期の実績及び対前年同四半期増減率は記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	3,739	2,214	59.2
2019年12月期			

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 2,214百万円 2019年12月期 百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2020年12月期	0.00	0.00			
2020年12月期(予想)			0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,700		600		600		600		344.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1 社 (社名) GMOくまポン株式会社、除外 社 (社名)  
(注)詳細は、添付資料4ページ「2.(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期2Q	1,868,839 株	2019年12月期	1,868,839 株
期末自己株式数	2020年12月期2Q	156,000 株	2019年12月期	127,374 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期2Q	1,729,373 株	2019年12月期2Q	1,739,824 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

当社は、2020年8月7日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言が解除されたものの、接触による感染や先行きに対する不安から強い萎縮効果が生じており、経済活動の停滞が続いております。

このような経営環境の中、当社は、経営リソースの選択と集中をすすめるべく、前事業年度より引き続き、自社及びパートナーサイトにおけるアフィリエイト広告の強化、5G時代へ向けたHTML5ゲームプラットフォーム強化、プログラミング教育ポータル強化、お得なEC体験を提供するクーポン事業強化という4つの成長の柱を掲げて事業成長に取り組んでまいりました。

このうち、レストランなどの店舗やプログラミング教室の利用などリアルな人の移動に伴う事業については、新型コロナウイルス感染症による萎縮効果の影響を大きく受け、6月から回復しつつあるものの、依然として弱含みには推移しております。また、経済活動の停滞による広告出稿控えの影響から、広告単価についても依然として低調に推移しております。

メディア事業の収益構造を多様化させるために、上記4つの方針に沿って戦略的に投資を進める方針は変わらないものの、投資のタイミング及び内容については、新型コロナウイルス感染症の影響を注視しながら、慎重かつ積極的に進めていく予定になります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は2,187百万円、営業損失は88百万円、経常損失は88百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は77百万円となりました。

セグメント別の業績については、以下の通りになります。

#### ① メディア事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、リアルな人の移動を伴う事業の萎縮と広告単価下落の影響が生じております。また、「コエテコ」への継続的な投資に加えて、「キレイパス」についてもプロモーションのための投資を行いました。

この結果、当第2四半期連結累計期間におけるメディア事業の売上高は1,643百万円、営業損失は84百万円となりました。

#### ② その他メディア支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、一部業種の広告主による広告出稿控えが生じました。

その結果、当第2四半期連結累計期間におけるその他メディア支援事業の売上高は543百万円、営業損失は3百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は3,739百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金が711百万円、関係会社預け金が1,450百万円、売掛金が704百万円であります。

負債は1,525百万円となりました。主な内訳は、買掛金が355百万円、未払金が413百万円、ポイント引当金が639百万円であります。

純資産は2,214百万円となりました。内訳は、資本金が761百万円、資本剰余金が842百万円、利益剰余金が702百万円、自己株式が91百万円です。

### キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は2,161百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動による資金の増減は、123百万円の増加となりました。これは主に、売上債権の減少69百万円及び仕入債務の増加26百万円によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動による資金の増減は、108百万円の減少となりました。これは主に、新規連結による減少84百万円によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動による資金の増減は、159百万円の減少となりました。これは主に、借入金の返済105百万円及び自己株式取得の支出37百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、緊急事態宣言が解除され、外出自粛や移動制限が徐々に緩和されていくものと思われる一方で、収束時期は依然として不透明であり、その影響が長期化する可能性も存在します。このように当社事業に影響を与える事象の内容、時期および発生可能性の程度が不明である事から、現時点において業績予想を合理的に算定することが困難であり、その影響を織り込まずに2020年2月6日に公表いたしました2020年12月期の連結業績予想を修正せず据え置いております。今後、合理的な算定が可能となり、開示が必要と判断された場合には速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、GMOくまポン株式会社の株式を取得したことにより、連結の範囲に含めております。また、GMOくまポン株式会社は当社の特定子会社に該当いたします。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	711,899
関係会社預け金	1,450,000
売掛金	704,040
商品	36,120
貯蔵品	15,244
その他	118,584
貸倒引当金	△1,467
流動資産合計	3,034,421
固定資産	
有形固定資産	39,306
無形固定資産	
のれん	167,086
その他	155,067
無形固定資産合計	322,154
投資その他の資産	343,960
固定資産合計	705,421
資産合計	3,739,843
<b>負債の部</b>	
流動負債	
買掛金	355,002
未払金	413,519
未払法人税等	10,563
ポイント引当金	639,885
その他	84,593
流動負債合計	1,503,564
固定負債	
資産除去債務	11,531
その他	9,985
固定負債合計	21,516
負債合計	1,525,081

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間  
(2020年6月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	761,977
資本剰余金	842,127
利益剰余金	702,432
自己株式	△91,776
株主資本合計	2,214,761
純資産合計	2,214,761
負債純資産合計	3,739,843



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
売上高	2,187,098
売上原価	1,657,711
売上総利益	529,386
販売費及び一般管理費	617,605
営業損失(△)	△88,218
営業外収益	
受取利息	643
雑収入	289
営業外収益合計	932
営業外費用	
支払利息	544
支払手数料	375
その他	18
営業外費用合計	938
経常損失(△)	△88,224
税金等調整前四半期純損失(△)	△88,224
法人税、住民税及び事業税	1,939
法人税等調整額	△12,426
法人税等合計	△10,487
四半期純損失(△)	△77,737
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△77,737

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△77,737
四半期包括利益	△77,737
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△77,737

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)
	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△88,224
減価償却費	47,510
のれん償却額	8,522
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△434
ポイント引当金の増減額(△は減少)	41,404
受取利息及び受取配当金	△643
雑収入	△117
支払利息	544
売上債権の増減額(△は増加)	69,698
たな卸資産の増減額(△は増加)	△16,529
貯蔵品の増減額(△は増加)	19,730
その他の資産の増減額(△は増加)	805
仕入債務の増減額(△は減少)	26,749
未払金の増減額(△は減少)	2,855
その他の負債の増減額(△は減少)	11,689
小計	123,563
利息及び配当金の受取額	672
利息の支払額	△1,617
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	790
営業活動によるキャッシュ・フロー	123,409
投資活動によるキャッシュ・フロー	
無形固定資産の取得による支出	△23,599
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△84,604
投資活動によるキャッシュ・フロー	△108,203

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
(自 2020年1月1日  
至 2020年6月30日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の返済による支出	△105,000
リース債務の返済による支出	△16,834
自己株式の取得による支出	△37,609
配当金の支払額	△68
財務活動によるキャッシュ・フロー	△159,512
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△144,306
現金及び現金同等物の期首残高	2,306,206
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,161,899

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		
	メディア事業	その他メディア支援事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	1,643,882	543,216	2,187,098
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,643,882	543,216	2,187,098
セグメント利益	△84,535	△3,683	△88,218

(注) 1. セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント利益には適当な配分基準によって、各報告セグメントに配分された全社費用を含んでおります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。